

これからの季節ダニに注意！

ダニが持つウイルスや細菌などにより病気を発症することがあります、これをダニ媒介感染症といいます。マダニの活動が盛んな春から秋にかけて刺される危険性が高まります。

草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン（シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる）、足を完全に覆う靴、帽子、手袋を着用、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大事です。

マダニ類は皮膚に口を突き刺し、長時間（長いものは数日間）吸血しますが、刺されたことに気づかない事もあります。刺さっているマダニに気が付いた際、無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残って化膿したり、マダニの体液を逆流させてしまったりするおそれがあるので医療機関で処置をしてもらいましょう。またマダニに刺された後、数週間は体調の変化に注意し発熱等有れば医療機関を受診しましょう。

